



2024年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月14日

上場会社名 フルテック株式会社
コード番号 6546

上場取引所 東・札

URL https://www.fulltech1963.com

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古野 重幸
社長執行役員問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 田中 康之 (TEL) (011)-222-3572
管理本部長兼経営企画室長

定時株主総会開催予定日 2025年3月27日 配当支払開始予定日 2025年3月28日

有価証券報告書提出予定日 2025年3月27日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期の連結業績(2024年1月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期	13,813	8.1	612	36.7	677	36.8	457	91.4
2023年12月期	12,784	7.1	448	537.2	495	207.0	239	154.3

(注) 包括利益 2024年12月期 445百万円(10.4%) 2023年12月期 403百万円(264.9%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年12月期	85.31	—	7.0	5.6	4.4
2023年12月期	44.56	—	3.8	4.3	3.5

(参考) 持分法投資損益 2024年12月期 一百万円 2023年12月期 一百万円

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期	12,231	6,685	54.7	1,245.44
2023年12月期	11,997	6,406	53.4	1,193.46

(参考) 自己資本 2024年12月期 6,685百万円 2023年12月期 6,406百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年12月期	753	△66	△503	2,816
2023年12月期	649	△318	509	2,633

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年12月期	—	10.00	—	21.00	31.00	166	69.6	2.6
2024年12月期	—	10.00	—	22.00	32.00	171	37.5	2.6
2025年12月期(予想)	—	10.00	—	22.00	32.00		36.5	

(注) 2023年12月期期末配当金の内訳 普通配当18円00銭 創業60周年記念配当3円00銭

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日~2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり当期純 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通 期	14,350	3.9	660	7.7	700	3.3	470	87.56

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 有
 新規 1社(社名)株式会社ワイズ・コーポレーション、除外 1社(社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年12月期	5,367,800株	2023年12月期	5,367,800株
② 期末自己株式数	2024年12月期	150株	2023年12月期	150株
③ 期中平均株式数	2024年12月期	5,367,650株	2023年12月期	5,367,650株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年12月期の個別業績(2024年1月1日~2024年12月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期	13,244	3.8	608	51.2	685	46.0	487	122.8
2023年12月期	12,760	7.1	402	—	469	298.9	218	233.4
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年12月期	90.85		—					
2023年12月期	40.77		—					

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期	10,835	5,678	52.4	1,057.92
2023年12月期	10,801	5,356	49.6	997.99

(参考) 自己資本 2024年12月期 5,678百万円 2023年12月期 5,356百万円

<個別業績の前期実績との差異理由>

当事業年度は建具関連事業において選別受注や採算管理の徹底及び仕入価格上昇に対する価格転嫁の取り組みの効果により利益率が改善したこと及びリニューアル受注の好調な推移により売上総利益が増加したことから、営業利益及び経常利益が大幅な増益となりました。また、前事業年度は特別損失に79百万円の減損損失を計上しておりましたが、当事業年度は同規模の計上がないことから当期純利益は前期比122.8%増となりました。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

<将来に関する記述等についてのご注意>

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

<決算補足説明資料について>

昨年同様に決算補足説明資料及び決算説明動画を2025年3月中旬に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(企業結合等関係)	13
(収益認識関係)	14
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善、インバウンド需要の増加等により緩やかな回復基調となりました。その一方で、物価上昇の継続や地政学的リスクの高まり、世界的な金融引き締め等による景気の下振れが懸念されており、その先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、新規部門においては選別受注・採算管理の徹底を継続し、収益基盤であるストック市場においては、リニューアル需要の掘り起こしのために自動ドアエンドユーザーとの「つながり」を創出・強化する施策に取り組み、また、お客様へのサービス向上と同時に省人化を実現する保守サービス「Fi-R」（IoTを活用し、従来の年3回から年1回点検を可能とする保守サービス）の拡大による保守契約率の向上に注力してまいりました。

以上の結果、売上高は13,813百万円（前年同期比8.1%増）、営業利益は612百万円（前年同期比36.7%増）、経常利益は677百万円（前年同期比36.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は457百万円（前年同期比91.4%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。なお、当連結会計年度より「自動ドア関連」の区分に含まれている「リニューアル」のうち、建具リニューアルを「建具関連」に区分変更したため、遡及適用後の数値で前年同期比較を行っております。

① 自動ドア関連

新規部門における大型物件の売上計上及びリニューアル受注が好調に推移したことに加え、保守契約台数が堅調に増加した結果、売上高は8,437百万円（前年同期比5.8%増）となりました。利益につきましては、リニューアル売上の増加、新規物件における選別受注・採算管理の徹底により、セグメント利益（営業利益）は2,184百万円（前年同期比8.5%増）となりました。

② 建具関連

新規販売における大型物件の増加によって、売上高は4,392百万円（前年同期比6.0%増）となりました。利益につきましては、選別受注や採算管理の徹底及び仕入価格上昇に対する価格転嫁の取り組みの効果により利益率が改善し、セグメント利益（営業利益）は307百万円（前年同期比533.8%増）となりました。

③ その他

前年のセキュリティゲートの大型物件による反動減の一方で、新規連結子会社の売上が加わったことにより、売上高は983百万円（前年同期比48.5%増）となりました。利益につきましては、子会社株式取得費用の計上等により、セグメント損失（営業損失）は33百万円（前年同期は46百万円のセグメント利益（営業利益））となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は12,231百万円となり、前連結会計年度末に比べ233百万円増加しました。これは主に、現金及び預金が183百万円、のれんが86百万円増加したこと等によるものであります。

当連結会計年度末の負債は5,546百万円となり、前連結会計年度末に比べ45百万円減少しました。これは主に、未払消費税等が151百万円、賞与引当金が123百万円、短期借入金が120百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が300百万円、長期借入金が170百万円減少したこと等によるものであります。

当連結会計年度末の純資産は6,685百万円となり、前連結会計年度末に比べ279百万円増加しました。これは配当金の支払により166百万円減少した一方で、親会社株主に帰属する当期純利益の計上により457百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は2,816百万円となり、前連結会計年度末に比べ183百万円増加しました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において営業活動の結果獲得した資金は753百万円（前年同期比16.0%増）となりました。収入の主な内訳は税金等調整前当期純利益684百万円、棚卸資産の減少額404百万円、減価償却費198百万円であり、支出の主な内訳は仕入債務の減少額509百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において投資活動の結果使用した資金は66百万円（前年同期比79.0%減）となりました。収入の主な内訳は定期預金の払戻による収入229百万円であり、支出の主な内訳は新規子会社取得による支出199百万円、有形固定資産の取得による支出108百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において財務活動の結果使用した資金は503百万円（前年同期は509百万円の獲得）となりました。支出の主な内訳は長期借入金の返済による支出382百万円、配当金の支払額166百万円であります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年12月期	2021年12月期	2022年12月期	2023年12月期	2024年12月期
自己資本比率 (%)	59.3	58.3	56.7	53.4	54.7
時価ベースの自己資本比率 (%)	76.6	69.4	59.4	51.1	50.4
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	0.6	0.4	0.2	1.2	0.9
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	307.4	236.0	392.9	239.4	118.8

(注) 1. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

2. 各指標は、下記の基準で算出しております。

自己資本比率……………自己資本÷総資産

時価ベースの自己資本比率……………株式時価総額÷総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率…………有利子負債÷キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ……………キャッシュ・フロー÷利払い

3. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式総数（自己株式控除後）により算出しております。

4. キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを利用しております。

5. 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を利用しております。

(4) 今後の見通し

当社グループは、長期経営ビジョン「ビジョン2030」を制定し、2030年12月期の数値目標に「売上高経常利益率及びROE10%以上の達成」を掲げております。

この目標達成に向けて、2025年12月期のスローガンを「更なる高収益体質へ」とし、新規物件粗利率向上とストック市場へのアプローチ強化、従業員満足度の向上に注力してまいります。

具体的には、新規物件については選別受注を強化し、収益性の高い案件に注力します。また、ストック市場では、当社の自動ドアをご利用いただいているエンドユーザーとの継続的な関係を構築することでリニューアル受注の一層の拡大と保守契約率向上を目指してまいります。

さらに、昇給や健康経営の推進により従業員満足度を高めることで人材の定着率向上と生産性の向上に努めてまいります。

以上により、2025年12月期の連結業績につきましては、建具関連事業及びリニューアル部門の受注増加により、売上高は14,350百万円（前年同期比3.9%増）、利益につきましては、生産性向上のための積極的なシステム投資や昇給等による各種経費の増加により、営業利益660百万円（前年同期比7.7%増）、経常利益700百万円（前年同期比3.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益470百万円（前年同期比2.6%増）を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際的な事業展開や資金調達を行っておりませんので、当面は日本基準を採用することとしております。

なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の採用動向を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当連結会計年度 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,652,874	2,835,904
受取手形及び売掛金	1,554,220	1,606,878
契約資産	-	44,244
電子記録債権	616,088	702,144
仕掛品	1,767,453	1,440,964
原材料及び貯蔵品	226,845	214,713
その他	629,116	654,035
貸倒引当金	△1,680	△569
流動資産合計	7,444,918	7,498,316
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,444,697	1,453,157
機械装置及び運搬具（純額）	110,186	96,707
工具、器具及び備品（純額）	17,284	19,184
土地	1,355,264	1,355,264
リース資産（純額）	13,985	9,756
建設仮勘定	-	1,143
その他（純額）	4,782	4,666
有形固定資産合計	2,946,200	2,939,881
無形固定資産		
借地権	11,810	11,810
ソフトウェア	129,346	102,110
ソフトウェア仮勘定	393,324	402,088
のれん	-	86,577
その他	9,246	9,024
無形固定資産合計	543,728	611,611
投資その他の資産		
投資有価証券	469,565	518,716
出資金	2,650	2,671
長期貸付金	2,285	1,857
繰延税金資産	180,434	207,861
敷金及び保証金	105,807	120,418
保険積立金	318,145	341,181
その他	4,425	9,286
貸倒引当金	△20,173	△20,136
投資その他の資産合計	1,063,140	1,181,855
固定資産合計	4,553,068	4,733,349
資産合計	11,997,987	12,231,665

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当連結会計年度 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,279,210	978,272
電子記録債務	1,496,227	1,369,703
短期借入金	-	120,000
1年内返済予定の長期借入金	170,172	170,172
リース債務	4,651	3,612
未払金	227,888	279,789
未払法人税等	121,542	196,151
未払消費税等	75,790	227,577
前受収益	437,211	447,088
賞与引当金	-	123,000
製品保証引当金	1,740	1,525
工事損失引当金	224,004	226,482
その他	634,038	630,016
流動負債合計	4,672,476	4,773,391
固定負債		
長期借入金	565,600	395,428
リース債務	11,238	7,625
役員退職慰労引当金	295,005	328,155
退職給付に係る負債	44,618	39,403
その他	2,973	2,582
固定負債合計	919,436	773,194
負債合計	5,591,912	5,546,585
純資産の部		
株主資本		
資本金	329,304	329,304
資本剰余金	289,864	289,864
利益剰余金	5,536,510	5,828,013
自己株式	△232	△232
株主資本合計	6,155,446	6,446,949
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	189,440	191,628
退職給付に係る調整累計額	61,187	46,503
その他の包括利益累計額合計	250,628	238,131
純資産合計	6,406,074	6,685,080
負債純資産合計	11,997,987	12,231,665

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
売上高	12,784,506	13,813,726
売上原価	8,736,647	9,160,103
売上総利益	4,047,859	4,653,623
販売費及び一般管理費		
製品保証引当金繰入額	△266	△215
役員報酬	103,680	139,080
給料及び手当	1,344,410	1,431,547
賞与	303,553	362,144
賞与引当金繰入額	-	109,000
退職給付費用	55,237	50,942
役員退職慰労引当金繰入額	22,185	33,150
法定福利費	277,476	325,051
のれん償却額	-	14,429
貸倒引当金繰入額	-	△1,017
賃借料	314,780	332,963
その他	1,178,414	1,243,550
販売費及び一般管理費合計	3,599,471	4,040,626
営業利益	448,387	612,996
営業外収益		
受取利息	89	359
受取配当金	11,184	13,024
受取家賃	4,316	5,025
貸倒引当金戻入額	224	-
作業くず売却益	26,514	26,501
保険解約益	-	627
その他	8,738	27,594
営業外収益合計	51,068	73,131
営業外費用		
支払利息	2,710	6,172
リース解約損	320	331
控除対象外消費税等	1,004	1,063
その他	275	1,071
営業外費用合計	4,310	8,637
経常利益	495,145	677,490

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
特別利益		
固定資産売却益	-	22
投資有価証券売却益	1,072	427
営業権譲渡益	-	10,000
特別利益合計	1,072	10,450
特別損失		
固定資産除却損	4,352	591
減損損失	79,377	480
投資有価証券評価損	2,534	1,883
ゴルフ会員権評価損	3,795	-
特別損失合計	90,059	2,955
税金等調整前当期純利益	406,158	684,984
法人税、住民税及び事業税	161,351	255,794
法人税等調整額	5,598	△28,709
法人税等合計	166,949	227,084
当期純利益	239,208	457,900
親会社株主に帰属する当期純利益	239,208	457,900

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
当期純利益	239,208	457,900
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	72,229	2,187
退職給付に係る調整額	91,854	△14,684
その他の包括利益合計	164,084	△12,496
包括利益	403,292	445,403
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	403,292	445,403

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	329,304	289,864	5,447,595	△232	6,066,531	117,211	△30,667	86,544	6,153,076
当期変動額									
剰余金の配当			△150,294		△150,294				△150,294
親会社株主に帰属する 当期純利益			239,208		239,208				239,208
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)						72,229	91,854	164,084	164,084
当期変動額合計	-	-	88,914	-	88,914	72,229	91,854	164,084	252,998
当期末残高	329,304	289,864	5,536,510	△232	6,155,446	189,440	61,187	250,628	6,406,074

当連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	329,304	289,864	5,536,510	△232	6,155,446	189,440	61,187	250,628	6,406,074
当期変動額									
剰余金の配当			△166,397		△166,397				△166,397
親会社株主に帰属する 当期純利益			457,900		457,900				457,900
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)						2,187	△14,684	△12,496	△12,496
当期変動額合計	-	-	291,502	-	291,502	2,187	△14,684	△12,496	279,006
当期末残高	329,304	289,864	5,828,013	△232	6,446,949	191,628	46,503	238,131	6,685,080

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	406,158	684,984
減価償却費	173,889	198,002
減損損失	79,377	480
固定資産除却損	4,352	591
のれん償却額	-	14,429
保険解約損益 (△は益)	-	△627
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	238	△1,147
賞与引当金の増減額 (△は減少)	-	123,000
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	22,185	13,150
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△8,421	△32,400
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	△30,545	2,477
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△266	△215
受取利息及び受取配当金	△11,273	△13,384
支払利息	2,710	6,172
有形固定資産売却損益 (△は益)	-	△22
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,072	△427
投資有価証券評価損益 (△は益)	2,534	1,883
ゴルフ会員権評価損	3,795	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△41,633	△59,550
契約資産の増減額 (△は増加)	-	△44,244
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△228,100	404,392
仕入債務の増減額 (△は減少)	207,173	△509,155
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△36,981	148,798
その他の資産の増減額 (△は増加)	17,580	△20,419
その他の負債の増減額 (△は減少)	161,514	19,496
その他	468	△1,903
小計	723,684	934,360
利息及び配当金の受取額	11,216	13,388
利息の支払額	△2,710	△6,341
法人税等の支払額	△93,748	△188,247
法人税等の還付額	10,570	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	649,011	753,159
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△19,515	△44,074
定期預金の払戻による収入	19,515	229,379
有形固定資産の取得による支出	△261,551	△108,522
無形固定資産の取得による支出	△32,440	△11,917
投資有価証券の取得による支出	△5,195	△50,000
投資有価証券の売却による収入	6,312	7,667
敷金及び保証金の差入による支出	△2,269	△8,338
敷金及び保証金の回収による収入	2,453	4,665
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△199,131
保険積立金の積立による支出	△17,046	△22,612
保険積立金の解約による収入	-	137,366
その他	△8,769	△1,307
投資活動によるキャッシュ・フロー	△318,508	△66,825

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	-	50,000
長期借入れによる収入	750,000	-
長期借入金の返済による支出	△85,576	△382,181
リース債務の返済による支出	△4,858	△4,651
配当金の支払額	△150,286	△166,472
財務活動によるキャッシュ・フロー	509,278	△503,304
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	839,781	183,030
現金及び現金同等物の期首残高	1,793,577	2,633,359
現金及び現金同等物の期末残高	2,633,359	2,816,389

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

(取得による企業結合)

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社ワイズ・コーポレーション

事業の内容 組込み系制御基板の開発・設計・製造

コンピュータ応用機器のシステム企画・開発設計・製造

集中管理システム、マルチメディア関連、情報通信、PC応用製品

ソフトウェアの受託開発・製作

(2) 企業結合を行った主な理由

当社では成長戦略のひとつとして「新たな価値を付加した自動ドアの提案と自動ドア以外の新商品の開発」を掲げ、自動ドアのみならず自動ドアに関連するその他周辺機器の開発に努力してまいりました。

株式会社ワイズ・コーポレーションは、セキュリティボックスをはじめとする組込み系制御システムの企画・設計・システム開発・製造で培った確かな製品開発力を有しております。その優れた技術開発力が当社グループに加わることによって、新しい商品開発の可能性が広がるものと期待しております。また、株式会社ワイズ・コーポレーションの製品を当社の販売ルートに乗せることによって一層の業容拡大を図ることができるものと考え、株式取得を決定いたしました。

(3) 企業結合日

2024年1月16日（株式取得日）

2024年2月9日（株式等売渡請求）

（みなし取得日 2023年12月31日）

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5) 結合後企業の名称

結合前から変更はありません。

(6) 取得した議決権比率

企業結合日に取得した議決権比率	98.7 %
-----------------	--------

企業結合日後に追加取得した議決権比率（株式等売渡請求）	1.3 %
-----------------------------	-------

取得後の議決権比率	100.0 %
-----------	---------

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものであります。

2. 当連結会計年度に係る連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

被取得企業のみなし取得日を2023年12月31日としており、かつ、被取得企業の決算期を9月から12月に変更したため、2024年1月1日から2024年12月31日までの業績を当連結会計年度に係る連結損益計算書に含めております。

3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	256,120千円
取得原価		256,120千円

4. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー等に対する報酬・手数料等 25,000千円

5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれんのご金額

101,007千円

(2) 発生原因

主に、今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力から発生したものであります。

(3) 償却方法及び償却期間

7年間にわたる均等償却

6. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	387,852	千円
固定資産	190,304	千円
資産合計	578,156	千円
流動負債	284,330	千円
固定負債	138,714	千円
負債合計	423,044	千円

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、地域別に支店・営業所を置き、取り扱う製品・サービスについて各地域での包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。取締役会は、製品・サービス区分による事業業績の報告をもとに経営に関する意思決定を行っております。

したがって、当社グループは、製品・サービス別のセグメントから構成されており、「自動ドア関連事業」、「建具関連事業」の2つを報告セグメントとしております。

「自動ドア関連事業」は、ビルエントランスをはじめとした一般的な自動ドア開閉装置、工場等の大型重量扉に対応した自動ドア開閉装置等を仕入・販売しております。また、既存自動ドア等の保守・修理、取替・改修を行っております。「建具関連事業」は、ステンレス、アルミ、スチール等のサッシ、強化ガラス、框ドア等を生産（主にステンレス）・販売しております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報
前連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計
	自動ドア関連	建具関連	計		
売上高					
一時点で移転される財 又はサービス	4,311,643	4,144,099	8,455,743	581,575	9,037,318
一定の期間にわたり移 転されるサービス	3,666,249	—	3,666,249	80,938	3,747,187
顧客との契約から生じ る収益	7,977,892	4,144,099	12,121,992	662,513	12,784,506
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	7,977,892	4,144,099	12,121,992	662,513	12,784,506
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	24,189	24,189
計	7,977,892	4,144,099	12,121,992	686,702	12,808,695
セグメント利益	2,012,958	48,514	2,061,473	46,341	2,107,815
その他の項目					
減価償却費	41,472	68,597	110,069	2,818	112,887

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「駐輪システム事業」、「環境機器事業」、「セキュリティ事業」、「付帯事業」、「商品販売事業」等を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの資産、負債につきましては、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための対象とはしていないため、記載していません。

当連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計
	自動ドア関連	建具関連	計		
売上高					
一時点で移転される財 又はサービス	4,716,915	4,286,980	9,003,895	911,863	9,915,759
一定の期間にわたり移 転されるサービス	3,720,843	105,285	3,826,129	71,838	3,897,967
顧客との契約から生じ る収益	8,437,759	4,392,265	12,830,025	983,701	13,813,726
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	8,437,759	4,392,265	12,830,025	983,701	13,813,726
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	22,478	22,478
計	8,437,759	4,392,265	12,830,025	1,006,180	13,836,205
セグメント利益又は セグメント損失(△)	2,184,402	307,480	2,491,883	△33,393	2,458,490
その他の項目					
減価償却費	41,208	88,293	129,502	10,748	140,251

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「駐輪システム事業」、「環境機器事業」、「セキュリティ事業」、「付帯事業」、「商品販売事業」等を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの資産、負債につきましては、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための対象とはしていないため、記載していません。

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	12,121,992	12,830,025
「その他」の区分の売上高	686,702	1,006,180
セグメント間取引消去	△24,189	△22,478
連結財務諸表の売上高	12,784,506	13,813,726

（単位：千円）

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	2,061,473	2,491,883
「その他」の区分の利益又は損失（△）	46,341	△33,393
全社費用(注)	△1,655,979	△1,900,441
棚卸資産の調整額	△39,448	18,947
その他の調整額	36,000	36,000
連結財務諸表の営業利益	448,387	612,996

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

5 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当連結会計年度において株式会社ワイズ・コーポレーションの株式を取得し、連結子会社化することとなったため、「その他」セグメントにおいてのれん86,577千円を計上しております。

6 報告セグメントの変更等に関する事項

近年のトータルリニューアル推進により建具リニューアル売上が伸長していることから、建具関連事業総体の収益力を適切に把握するため、当連結会計年度より「自動ドア関連事業」セグメントに含まれていた「建具リニューアル」を「建具関連事業」へ区分変更しております。

なお、前連結会計年度のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

（1株当たり情報）

	前連結会計年度 （自 2023年1月1日 至 2023年12月31日）	当連結会計年度 （自 2024年1月1日 至 2024年12月31日）
1株当たり純資産額	1,193円46銭	1,245円44銭
1株当たり当期純利益	44円56銭	85円31銭

（注）1. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 （自 2023年1月1日 至 2023年12月31日）	当連結会計年度 （自 2024年1月1日 至 2024年12月31日）
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	239,208	457,900
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	239,208	457,900
普通株式の期中平均株式数(株)	5,367,650	5,367,650

2. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないことから記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。